

みずほCustomer Desk Report 2017/12/14 号 (As of 2017/12/13)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.47
TKY 9:00AM	113.53	1.1743	133.33	1.3320	0.7557
SYD-NY High	113.57	1.1832	133.37	1.3428	0.7639
SYD-NY Low	112.46	1.1729	132.85	1.3313	0.7552
NY 5:00 PM	112.54	1.1825	133.08	1.3419	0.7638
NY DOW	24,585.43	80.63	日本2年債	-0.1600	▲1.00bp
NASDAQ	6,875.80	13.48	日本10年債	0.0500	1.00bp
S&P	2,662.85	▲1.26	米国2年債	1.7764	▲5.28bp
日経平均	22,758.07	▲108.10	米国5年債	2.1075	▲6.35bp
TOPIX	1,810.84	▲4.24	米国10年債	2.3457	▲5.63bp
シゴ日経先物	22,705	▲195	独10年債	0.3125	▲0.25bp
ロンドンFT	7,496.51	▲3.90	英10年債	1.2135	▲0.75bp
DAX	13,125.64	▲57.89	豪10年債	2.5240	▲1.85bp
ハンセン指数	29,222.10	428.22	USDJPY 1M Vol	6.65	▲0.13%
上海総合	3,303.04	22.22	USDJPY 3M Vol	7.45	0.01%
NY金	1,258.10	16.40	USDJPY 6M Vol	7.95	0.00%
WTI	56.67	▲0.47	USDJPY 1M 25RR	-0.63	Yen Call Over
CRB指数	183.36	▲0.05	EURJPY 3M Vol	7.88	0.18%
ドルインデックス	93.44	▲0.66	EURJPY 6M Vol	8.20	0.04%

東京
オセアニア時間こそ高値113.57をつける場面があったものの更なる上値追いはならず、113.53レベルで東京時間オープン。公示仲値の発表時間にかけて113.40台前半まで小緩んだものの下値も限定的。午後に入ると米アラバマ州上院議員補欠選挙の結果、民主党ジョーンズ氏が勝利と伝わり、米上院における共和党議席が51に減少(民主党は49に増加)することでランプ政権下での米議会運営は一層難易度が上がるとの見方が出る中、ドル円は113.12まで下落。但し、その後は議会運営は苦しくなっても税制改革法案の成立については楽観視する向きもあり113.30台を回復。海外時間にはFOMC・イエレンFRB議長講演等のイベントを控えていることから113.30台を中心としたレンジ推移が継続。結局、ドル円は113.33レベルで海外に渡った。

ロンドン
ロンドン市場のドル円は、113.33円でオープン。FOMCを控え様子見ムードの中、113.30台のオープンレベルを小動かし、113.31レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.3332でオープン、英雇用統計の発表を前に、期待感から1.3369まで上昇。発表された英11月失業率は4.3%と42年ぶりの低水準まで改善したものの予想(4.2%)されていたほど改善せず、同11月失業保険申請件数も5900件増と予想(3200件増)を上回る増加となった。これを受けてロンドンドルは小緩み、1.3354レベルでNYに渡った。(ロンドンドルプライム 00531 444 179 山本)

ニューヨーク
ドル円は113.31レベルでNYオープン。朝方は米11月コアCPIが予想を下回ると、前日のコアPPIが予想を上回っていたことからコアCPIは上振れるとの期待も一部にあったことから、112.96まで下落する。その後は狭いレンジでの推移が暫く続くが、正午前になり上下両院の指導部が税制法案で合意に達したとのヘッドラインが伝わり、113.29まで上昇。しかし買いは続かず、FOMCの結果発表を控え、113.00へ向かってじりじりと下落する。FOMCでは予想通り政策金利を1.25-1.50%へ引き上げ、政策金利見通しで前回通り利上げパスを来年は3回、再来年は2回とした。政策金利見通しについては一部で来年の利上げパスは4回との期待もあったことから112.65まで下落する。今回で最後となるイエレン議長の記者会見では、特段サプライズな内容ではなかったものの、米金利が低下する展開にドル円は112.46まで下落する。このレベルでは買い意欲もあり112.64まで戻すが、堅調な株式市場が上げ幅を縮小したことから上値を押さえられ、112.54レベルでクロスした。一方、FOMCを控え海外市場で狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは、1.1740レベルでNYオープン。朝方は米コアCPIの結果を受けて1.1771まで上昇するも、その後はFOMC結果発表を控え1.1760付近での推移が続く。午後はFOMCの政策金利見通しの発表を受けドル売りが強まったことからユーロドルは下値を切り上げ、一時1.1832まで上昇し、1.1825レベルでクロスした。(NY 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:矢野・坂本

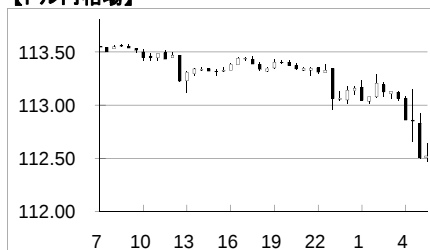
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月13日	16:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	11月 0.3%/1.8% 0.3%/1.8%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	11月 0.4%/2.2% 0.4%/2.2%
	22:30	米	コアCPI(前月比/前年比)	11月 0.1%/1.7% 0.2%/1.8%
12月14日	4:00	米	FOMC 政策金利	- 1.25%-1.50% 1.25%-1.50%
	4:30	米	イエレンFRB議長 記者会見	「今後数年間緩やかな利上げが適切」「インフレの低迷は一時的」

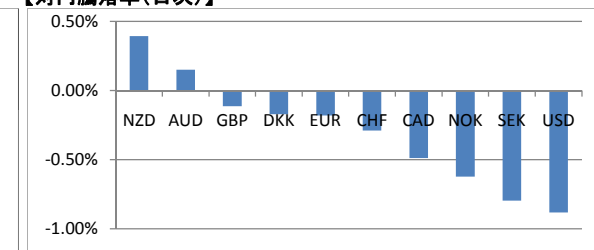
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月14日	9:30	豪	雇用者数変化/失業率	11月 19.0K/5.4% 3.7K/5.4%
	11:00	中	小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	11月 10.3%/7.2%/6.6% 10.3%/7.3%/6.7%
	17:30	独	マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)・速報	12月 62.0/54.6/57.2 62.5/54.3/57.3
	18:00	欧	マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)・速報	12月 59.7/56.0/57.2 60.1/56.2/57.5
	21:00	英	BOE金融政策委員会 政策金利	- 0.50% 0.50%
	21:45	欧	ECB理事会 主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40% 0.00%/0.25%/-0.40%
	22:30	欧	ドラギECB総裁 記者会見	- -
	23:45	米	マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)・速報	12月 53.9/54.7/- 53.9/54.5/54.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-112.90	1.1800-1.1850	133.10-133.60

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は「軟調な展開」。この日公表された米消費者物価指数(11月)が市場予想比弱めとなったことや米連邦公開市場委員会(FOMC)の結果を受けて米長期金利が低下。日米金利差拡大の思惑が後退したことからドル売り優勢となり1ドル=112.46円まで下落。その後の戻りも鈍く、日中安値圏での推移となった。本日のドル円相場は「上値の重い展開」を予想。米国では予想通り利上げが実施されたものの、先々の追加利上げ見通しに特段の変化は見られなかったことから、更なる日米金利差拡大期待は強まらず、市場参加者の買い手控え感が強まろう。112円台後半でのレンジ相場が継続しよう。